

# 民報あばしり

NO.893

2012.11.11

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八三三  
四三三・四四五八  
F四三三・四四五七

## TPP阻止！地域内経済循環でまちおこしを

政権運営に行き詰まっている野田首相が18日からカンボジアで開かれる東アジア首脳会議でTPP参加を表明し、総選挙での「政権公約」にしていく言明など、参加表明の動きを加速させています。そのような中、美幌町議会議員有志・美幌町JA主催で12日（月）午後6時30分より美幌町民会館びほーるにおいて、京都大学大学院岡田知弘教授を迎えて講演会が行われ、500人を超える参加者が集まり、TPP参加阻止に全力を挙げる意志を確認しました。

講演した岡田教授は、「TPPへの日本の参加は、米国の経済ルールが日本に押し付けられることを意味し、関税撤廃が迫られるだけでなく、



TPPでなく、一人ひとりの住民の生活を向上させる地域再生に向けた戦略が必要！

岡田教授は「従来路線を引き継ぐ『構造改革』・TPP路線は、地域経済を破壊するだけだと強調。国民の消費購買力を拡大し、生活向上に直結する改革。地域経済の担い手である中小企業や農林漁業、協同組合を重視した政策が地域を豊かにし、地域発展の決定的要素につながる。

一部の多国籍企業の利益を優先するグローバル競争に左右されない個性あふれる地域産業と地域社会の再構築を」と提起し、講演を閉じました。



## 松浦奮戦も！

11日、国会周辺と46都道府県で「即時原発ゼロ」「再稼働反対」の声を結集する首都圏反原発連合の主催で「反原発1000000人大占拠」が行われ、雨の中、延べ10万人が参加しました。首相官邸前、国会正門前、東京電力本店前、経済産業省前、文部科学省前、財務省前、外務省前などに全国から結集しました。

前日弁連会長の宇都宮健児氏は「原発がない、人にやさしい社会をつくるためみなさんと頑張りたい」と呼びかけました。日本共産党の志位和夫委員長は「今年の流行語大賞50語のなかに『原発ゼロ』がノミネートされました。これを大賞にし、流行語に終わらせず即時原発ゼロを実現させましょう」と訴えました。北電は冬を迎えることを利用して「電力不足」をマスコミなどをつかって盛んに宣伝していますが、原発に頼らなくても電力は十分に間に合います。

## いっせいで東奔西走

京都大学岡田先生の説得力ある講演を聞きました。3、11東日本大震災が問いかけたこととして、「陸前高田市で市民職員の4分の1が住民救助優先で亡くなったこと。

災害後、地元商店や企業が被災者への食料や物資、ガソリンの提供での助け合いによる行いは、多くの人を救いました。それは、何よりも大切な人間の『命』と、それをはぐくむ『地域』・コミュニティの重要性の再確認です」と切り出しました。

さらに気仙沼市と合併したある町が役場が支所になり職員が半減し、救助がままならず、市長がこの町に入ったのが震災後1ヶ月後で住民は『合併したのは失敗だった』と後悔したそうです。このような現状を見ず、ある学者が「TPP対応型で農業を復興すること。農水産業の復元はむづかしい。この際、一気に市町村合併を進め、強力な自治体をつくれ」と言ったとか。この学者こそ、あの小泉改革ブレイクの竹中平蔵です。その彼は今、第三極の旗手としてマスコミに持ち上げられている橋下「日本維新の会」のブレーンとして再登場です。

総選挙で躍進すると言われていますが、TPPと同じように彼にもレットカードを突き付けましょう。

## 流水

カレンダールの枚数があと一枚・・・今年もアツという間にせわしない時期に入ったなあ、と思っていたら、政局も急にあわただしく動き始めた。▼民・自・公の密室会談で「近いうち」に解散と言った野田首相がいつまでたっても解散しないので談合同士で（言葉は悪いけれど）のしりあい。国会で議論しなければならぬことが山ほどあるのに、と国民はあきれ果てて、います。ところが、野田さんTPP参加を表明し、解散すると考えたらしい。（この民報が出るころには、はつきりしているかも）。それには自も公もちよつと困った？何しろ自も公も党内でTPP参加について意思統一ができていないのだから。自民党はもともとTPP参加に参加したくてウズウズ。でも地域に戻ると反対の声が強いので「党はともかく、私は反対」などと現代政党とは思えぬごまかしで、その場をしのいできたわけです。▼そして、最高裁で「違憲」と断じられた一票の格差問題は、国民の意思が反映されない選挙制度そのものにあるのに「0増5減」の小手先解決。それでも足らぬと、民主党は比例の40議席削減を主張。自ら身を削ると言ってもっとも民意を反映している比例の数を減らすなどもつてのほか。政党助成金をなくしたら全国会議員を540人も減らしたことになる！どう考えてもそっちが先です。▼いずれにしても、国民にたいする約束違反、約束もしていないことを強行し、自民党も顔負けの民主党政権は解散して、国民の信を問うのは当然のことです。▼総選挙では、TPP参加反対、消費税増税反対、原発即時廃止など、自分が願っていることと一致する政党を選んでほしい。曖昧なことを言っている政党には絶対投票しない！そう考えたら、投票先は、日本共産党しかないなあ。（〇）